

令和6年度 第4回三鷹市スポーツ推進審議会 会議要旨

開催日	令和7年2月14日（金曜日）	時間	15：30～17：00						
会場	三鷹市教育センター2階 第二中研修室 （オンライン併用）	傍聴人数	2人						
出席者	助友委員、寺田委員、吉田委員、國澤委員、苔口委員、鈴木委員、安中委員、高柳委員、高橋委員、屋敷委員、溝口委員、大鶴委員								
欠席者	細川委員、相原委員								
行政	大朝スポーツと文化部長、平山スポーツと文化部調整担当部長、二浦スポーツ推進課長、福田スポーツ推進課主査								
内容	<p>1 開会あいさつ（助友会長）</p> <p>2 開会（事務局）</p> <p>（1）委員出席状況について 委員の出席状況は、委員定数14人のうち12人の出席により、委員の過半数が出席し、定足数に達していることから、本日のスポーツ推進審議会は有効に成立している。</p> <p>（2）傍聴希望について 市民会議、審議会等の傍聴は、「三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、原則として公開している。本日は、現時点で2名の傍聴希望者がいるため、条例に基づき入場いただく。</p> <p>（3）会議録の作成と公開について 三鷹市の市民会議、審議会等では、会議録を要録として作成し、公開している。会議の内容を録音し、会議録の原案を出席委員に確認のうえ、市のホームページと総務部相談・情報課にて公開を行う。</p> <p>3 議題</p> <p>（1）スポーツ推進計画2027【最終案】について（諮問事項） スポーツ推進計画2027【最終案】について、パブリックコメント踏まえた変更点を中心に以下のとおり報告した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">市民意見</th> <th style="text-align: center;">対応の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>誰もがスポーツに親しめる環境づくりにおいて、利用できる施設が少ない。環境整備に力を入れていただきたい。</p> <p>スポーツの機会を増やしたいが、スポーツ施設が予約出来ない状態が多々ある。</p> </td> <td> <p>学校体育施設や大学等民間スポーツ施設の利用枠拡充に取り組みます。また、スポーツ施設については、予約が取りにくい状況もあるため、公平性に配慮しつつ、多くの市民及び市内団体にご利用いただけるよう検討する旨を追記します。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>各種スポーツイベントの開催が周知されずに参加者が少ないので、周知方法をもっと工夫する必要があるのではないか。</p> </td> <td> <p>スポーツイベント等の周知については、市ホームページ・広報やSNS等を活用していますが、一定の課題があることも認識しています。スポーツ教室やイベント等について、市民にとって分かりやすく興味を持</p> </td> </tr> </tbody> </table>			市民意見	対応の方向性	<p>誰もがスポーツに親しめる環境づくりにおいて、利用できる施設が少ない。環境整備に力を入れていただきたい。</p> <p>スポーツの機会を増やしたいが、スポーツ施設が予約出来ない状態が多々ある。</p>	<p>学校体育施設や大学等民間スポーツ施設の利用枠拡充に取り組みます。また、スポーツ施設については、予約が取りにくい状況もあるため、公平性に配慮しつつ、多くの市民及び市内団体にご利用いただけるよう検討する旨を追記します。</p>	<p>各種スポーツイベントの開催が周知されずに参加者が少ないので、周知方法をもっと工夫する必要があるのではないか。</p>	<p>スポーツイベント等の周知については、市ホームページ・広報やSNS等を活用していますが、一定の課題があることも認識しています。スポーツ教室やイベント等について、市民にとって分かりやすく興味を持</p>
市民意見	対応の方向性								
<p>誰もがスポーツに親しめる環境づくりにおいて、利用できる施設が少ない。環境整備に力を入れていただきたい。</p> <p>スポーツの機会を増やしたいが、スポーツ施設が予約出来ない状態が多々ある。</p>	<p>学校体育施設や大学等民間スポーツ施設の利用枠拡充に取り組みます。また、スポーツ施設については、予約が取りにくい状況もあるため、公平性に配慮しつつ、多くの市民及び市内団体にご利用いただけるよう検討する旨を追記します。</p>								
<p>各種スポーツイベントの開催が周知されずに参加者が少ないので、周知方法をもっと工夫する必要があるのではないか。</p>	<p>スポーツイベント等の周知については、市ホームページ・広報やSNS等を活用していますが、一定の課題があることも認識しています。スポーツ教室やイベント等について、市民にとって分かりやすく興味を持</p>								

<p>内 容</p>		<p>ってもらえるよう、対象者を意識した広報のほか、対象年齢や運動レベル（初級・中級など）を表記した情報提供に努める旨を追記します。</p>
	<p>とても素晴らしい計画であると感じた。三鷹市ゆかりのトップアスリートの支援は、結果論的な日本代表選手に限らず、広く日本代表を目指すアスリートへの支援や応援が必要だと考える。市民には日本代表を目指すアスリートの情報がない。三鷹市が情報発信して市民が応援する機運を高めることが必要のように感じている。</p> <p>また、ふるさと応援団の皆さんとのスポーツ交流も実現可能ではないか。林家木久扇さんの卓球は有名であるし、岡元あつきさんはスポーツ栄養士アドバイザーの資格をお持っている。蝶野正洋さんは言わずもがなである。スポーツの分野において、ふるさと応援団の皆さんのお顔が見れる機会を作って欲しい。本計画が実現し、三鷹市が希望あふれるスポーツのまちとなることを期待している。</p>	<p>日本代表を目指している三鷹ゆかりのアスリートの支援や、三鷹にゆかりのある著名人である「ふるさと三鷹応援団」と市民との交流は、スポーツを支える人づくりとスポーツを通じたまちづくりを実現するうえでも、非常に重要だと認識しています。</p> <p>「3-3-(5)-ア 三鷹ゆかりのトップアスリートの支援」に、日本代表を目指すアスリートに関する内容を追記します。また、「3-3-(5)-イ プロスポーツチームの応援・連携を通じた三鷹の魅力発信」について、「ふるさと三鷹応援団」のアスリート等とのスポーツ交流に関する内容を追記します。</p>
	<p>(2) 令和7年度の主な事業について</p> <p>ア 三鷹ゆかりのスポーツ選手・荻村伊智朗顕彰事業の実施</p> <p>三鷹ゆかりの卓球選手として、世界選手権で12個の金メダルを獲得し、卓球を通じて世界の平和に貢献した荻村伊智朗氏が令和6年に没後30年を迎えた。荻村氏の顕彰事業として、三鷹市卓球連盟及び荻村氏が設立した卓球クラブであるITS三鷹と連携し、冠大会を令和7年12月に開催するとともに、卓球で世界をつないだ荻村氏の功績や三鷹との関わり等を紹介したリーフレットを作成する。</p> <p>イ 心と体の健康都市づくりの推進</p> <p>「心と体の健康都市づくり」の実現に向けた各事業を推進し、スポーツ推進審議会の学識経験者からの助言・評価を得ながら、市民の運動習慣の定着とスポーツ実施率の向上を図る。</p> <p>ウ 障がい者スポーツの普及と東京2025デフリンピックバレーボールの応援</p> <p>公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団が、関係団体と共催で開催する知的障がい児や発達障がい児を対象としたスポーツ教室への参加を推進するため、三鷹市民及び調布市民に対して、月額会費等の一部の支援を行う。また、三鷹市出身でオリンピックの狩野美雪氏が監督を務めるデフバレーボール女子日本代表応援事業として、練習会場の提供のほか、小学生を対象とした体験会を開催するなど、障がい者スポーツの普及と障がいの理解を推進する。</p>	

<p>内 容</p>	<p>エ 大沢総合グラウンドのリニューアル整備 安全かつ快適に利用できるスポーツ施設の質の確保と充実を図るため、令和6年度に実施した設計を踏まえ、整備工事を行い、令和8年2月を目途に順次利用を開始する。</p> <p>オ 井口グラウンドの開設 令和6年度に引き続き、整備工事を実施し、令和7年7月に公の施設として開設する。整備工事に当たっては、地中空洞箇所等の発見に伴う対応やクラブハウスの付帯設備の変更など、工事内容の変更を行う必要があるため、契約済みの事業費を増額する。整備後は安全性・利便性を高めるとともに、暫定的な施設から恒久的な施設となることから、使用料を新設する。また、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団を指定管理者として、他のスポーツ施設との一体的な管理により、効率的な施設運営を行う。</p> <p>寺田委員：スポーツ推進計画の第1次改定までは、基本目標は4つ設定されていたが、今回の計画では3つとなっている。「スポーツを通したコミュニティの創生」という目標の記載がなくなっているが、この目標がすでに達成されたため今回は記載していないのか。もしくは、他の目標に統合されたという認識で良いのか。</p> <p>二浦課長：目標が達成されたので記載していないということではなく、整理・統合を行い目標を3つ設定した。</p> <p>吉田委員：スポーツイベント・教室等参加者数が、策定時（令和5年度末）に95,924人の方が参加したという実績に対し、目標値（令和9年度末）を100,000人に設定している理由を教えて欲しい。5年で5千人増やすことを目標としているが、自然増加を予測できる範囲だと感じるため、目標値をもう少し上げて、達成させるための政策を考えた方がより有効的になるのではないか。</p> <p>二浦課長：目標値の設定の主な根拠は、スポーツと文化財団で開催している教室などになっているが、現状の人員体制でこれ以上定員を増やすことは厳しい。目標値の人数を増やす場合は、新たなイベントを考えなくてはいけないが、そのための予算・人員を現状確保することは難しいと考えている。数値目標としては、現実的な目標を設定した。</p> <p>吉田委員：毎年10月に1回開催されているスポーツフェスティバルほどの大規模なイベントでなくても、小規模版のイベントなどを複数回実施することで、スポーツや運動を行う人を増やすことはできないのか。</p> <p>平山調整担当部長：正確な数字は今手元にないが、スポーツ教室の定員の充足率は85%程度だったと記憶している。スポーツ教室の枠を増やすことになると、一般登録団体やスポーツ協会、地域スポーツクラブの皆様が大会等でご利用いただいている枠との関係もあるので、現実的にはなかなか難しい。また、スポーツフェスティバル等の大規模なイベントの参加人数は、多くの市民の方々に影響を及ぼす指標となっているため、実績人数と目標人数にあまり差をつけることができないということもある。</p> <p>現在の職員体制では、小規模なイベントを今以上に実施することは難</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p>しいため、事業形態を工夫したり、新たにボランティアの方達に支援していただくような機会を検討したい。</p> <p>鈴木委員：令和9年度末のスポーツイベント・教室等参加人数について、高齢者向けの目標値は6千人としているが、高齢化率を踏まえて算出しているのか。また、子ども、成人、女性の方の目標数値も三鷹市全体の何%なのかなどの内訳も合わせて、どのように算出したのか知りたい。この審議会でも話題になっている勤労世代をターゲットにするのは分かるが、医療費との関連も含め高齢者へのアプローチは非常に重要な課題になってきている中で、高齢者向けの目標値は6千人という数字はどのようなイメージになるのか。</p> <p>二浦課長：目標値については、令和5年度の実績を基に現実的な数値を設定したが、社会的事情も踏まえて、再度検討したいと思う。</p> <p>鈴木委員：今回の策定時に反映しなくてもよいので、今後策定した計画を見直すタイミングなどで、臨機応変に対応してもらえれば良いかなと思う。</p> <p>大朝部長：今回の策定で算出している目標数値は、市として把握可能な現実的な数値としている。それは、スポーツ施策として実施する数値であり、多少限定的になっていると感じている。他の委員からも、体育館などのスポーツ施設を使用したスポーツ活動だけではなく、生活の中でのスポーツ活動を行っている人はいるという話を事前にいただいていたが、それも広い意味でスポーツ実施率に含まれていると考えている。</p> <p>ご指摘のあった高齢者の数値は、他部署が実施している高齢者向けの運動教室などもあるが、スポーツ推進課が直接的に把握している数値ではないため、スポーツ推進計画として算出している数値には含めていない。幅広い意味でのスポーツ実施率となると、他部署でも実施されているスポーツ活動も含めるべきだが、現状ではまだ把握に至るまで到達していない。今後、どのような実績を市として把握したうえで、次の計画に反映させていけばよいのか、データ収集を行っていききたい。</p> <p>相原委員：私からは2点提案がある。1点目は、誰もが運動しやすい環境づくりという観点から。局所的に見ると市内には大沢総合グラウンドなど運動するための施設は整っているが、市全体として見た時に、自然と運動をしたいと思わせる仕掛けがあると良いと感じた。特に、勤労世代などは時間的制約があるため、ウォーキングが1番気軽にできると思う。そこで、例えば消費カロリー等が視覚的に見える案内板を設置したり、街中に掲載したQRコードを読み込むと「タッタカくん！ウォーク&ラン」アプリがダウンロードできるようにしてみてもどうか。誰もが自然と運動できるような仕掛けづくりなど、市全体でのスポーツに対する環境づくり・街づくりの視点があると、スポーツが根ざすまち三鷹としての価値をより高められると考える。</p> <p>2点目は、医療従事者の目線から病気になる前の健康予防の大切さを実感している。勤労世代はイベントを実施してもなかなか参加できない可能性が高い。そこで、企業と連携して体力測定などを企業内で実施してもらい、将来的にはそのような取り組みを行う企業認定制度を設けるなど、企</p>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>業側にもメリットがあるような形を取ることができると良いと考える。</p> <p>平山調整担当部長：1点目のまちづくりの視点については、三鷹駅前デッキ階段に消費カロリーを掲示し、利用者が楽しく階段を登れるように工夫する取り組みを進めている。また、1周何百メートルあるのか距離を掲示している公園もあるので、このようなハード面に大きな予算をかけなくても実施できるようなまちづくりの視点を盛り込みながら、具体的な事業に取り組んでいきたい。</p> <p>2点目の企業との連携については、ご提案いただいた健康体力相談事業のほか、三鷹市と関係が深い勤労者団体を中心に「タツカくん！ウオーク&ラン」アプリをPRして実際に会社内で使用してもらうことも検討していきたい。また、いくつかの企業がSUBARU総合スポーツセンターを利用し、健康診断や体力測定を単独で実施しているので、そのような企業と繋がりを作ることも重要だと感じている。</p> <p>安中委員：スポーツフェスティバルに参加したが、一般向けにボッチャやモルックの道具の貸出があれば良いと感じた。また、参加者の年齢層について、中学生から大学生くらいの人たちはほとんど見かけなかったのが、少し残念だった。</p> <p>計画の素案については2点提案がある。1点目は、学校や仕事で忙しくてスポーツや運動をする時間がないというアンケート回答が1番多い中で、週1回以上スポーツ活動を行っている市民の割合を65%に引き上げるためにオンラインのスポーツ教室などを開催することは、時間がない人やSUBARU総合スポーツセンターなどから離れたところに住んでいる人も利用しやすいのではないかと考える。</p> <p>2点目は、ハード面については井口グラウンドの整備や大沢総合グラウンドのリニューアルが行われるとのことだが、施設のソフト面を充実させて欲しい。例えば、三鷹市のホームページで施設の情報等を集約し、市民が行いたいスポーツや使用したい施設が簡単にアクセスできるような仕組みを構築してほしい。</p> <p>二浦課長：まず、ボッチャやモルックについては、市民の方やスポーツ団体への貸出は可能なので、スポーツ推進課にお問い合わせいただければと思う。</p> <p>ご提案いただいた1点目のオンラインスポーツ教室については、スポーツと文化財団で取り組みを進めているところである。また、2点目の情報発信関連については、市全体的な課題として、色々と情報発信を行っているものの市民の元まで情報が届いていないという現状があるため、スポーツ分野や生涯学習分野の一覧化・一元化ができるように検討しているところである。</p> <p>助友会長：情報発信は全庁的な取り組みということで、何かの折にスポーツ推進審議会の意見も伝えて欲しい。</p> <p>細川委員：計画の基本目標に「スポーツを支える人づくりとスポーツを通じたまちづくり」の記載があるが、「まちづくり」という文言にはハード面も含めて幅広い意味があるので、言葉の定義の説明文を追記すると分かりやすいと感じる。この計画の中の「まちづくり」という言葉の意味が、笑顔と活気</p>
------------	---

あふれる街の活性化状態を指すのであれば、言葉の定義の記載があることでハード面の話と勘違いされなくなると思う。

高柳委員：情報発信関連について、運動習慣がない女性に対しての運動プログラムの紹介について、どのような形でターゲットにアプローチすることを考えているか。

平山調整担当部長：スポーツと文化財団で提供しているスポーツ教室のホームページやチラシについて、女性が気軽に取り組めるプログラムと一目で分かるような文言の記載等を行いたいと考えている。また、SNS等を活用した情報発信については、スポーツに関連するワードなどを事前に登録することで、スポーツ関連のイベント開催通知等を個人の方に情報提供するようなプッシュ型の発信ができるよう工夫して取り組んでいく。

寺田委員：「タッタカくん！ウオーク&ラン」アプリの使い方が分かりにくいところがあるので、メニュー等に使用方法を記載するなどの工夫も必要になるのではないかと。また、先ほどから話題になっている情報の集約化という部分について、「タッタカくん！ウオーク&ラン」アプリの登録者数を増やして多くの人に使用してもらうことを目標としているのであれば、このアプリに他のイベントや施設の情報を集約するのも良いのではないかと。このアプリをダウンロードして開けば、他のスポーツ関連情報もまとめてすべて分かるというような仕組みがあると良い。

助友会長：これに付随した確認となるが、ロジックモデルの下位の内容は、この計画の中には記載はしないのか。

二浦課長：アプリに関しては、一部のスマートフォン端末については使用しにくいとユーザーからの声も届いているので、そのような不具合等については解消していきたい。アプリ内のスポーツ情報の集約については、みたか地域ポイントアプリ内で「タッタカくん！ウオーク&ラン」アプリを紹介したことにより、ダウンロード数が伸びたという状況もあったので、今後も様々なコンテンツを増やせるような工夫を行っていきたい。

なお、ロジックモデルの下位部分の具体的なアウトプットについては、この計画の中には記載しないが、下位部分の実績数値などについても集計し、施策の進捗の把握等に努めていく。

4 報告

(1) 事業予定

- | | |
|-------------------|---|
| 2月15日(土) | NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2024-25 (東芝ブレイブルーパス東京・東京サントリーサンゴリアス戦) 市民招待 |
| 2月18日(火) | 三鷹市市民体育施設利用者懇談会
小学校校庭開放説明会 |
| 2月20日(木) | 小学校校庭開放説明会 |
| 2月21日(金) | 小学校校庭開放説明会 |
| 2月22日(土) ~ 23日(日) | デフバレーボール女子日本代表合宿 |
| 3月2日(日) | 三鷹体操・ラジオ体操地域講習会
NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2024-25 (東京サントリーサ |

	<p>ンゴリアス・横浜キャノンイーグルス戦) 市民招待バスツアー</p> <p>3月22日(土) NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2024-25 (東芝ブレイブルーパス東京・埼玉パナソニックワイルドナイツ戦) 市民招待バスツアー</p> <p>3月23日(日) 第206回市民歩こう会</p> <p>(2) スポーツ推進審議会日程</p> <p>第1回 令和7年4月18日(金) 又は25日(金)</p> <p>※後日、日程確定後にあらためて連絡予定</p> <p>5 閉会あいさつ(寺田副会長)</p>
--	---